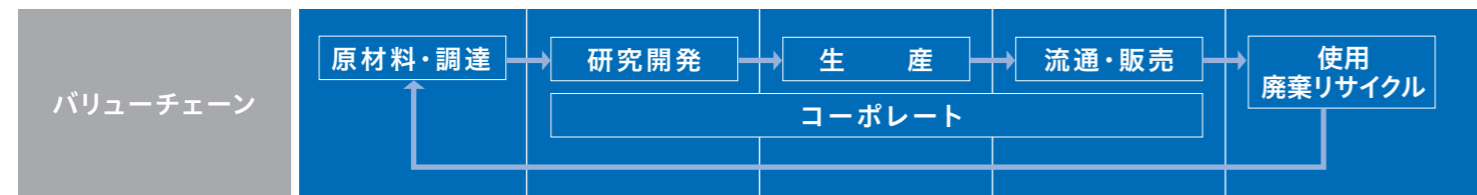


TOYO TIREのバリューチェーンとSDGs



当社グループは、将来の事業環境を想定し、バリューチェーンの各段階において地球規模の社会的課題におけるTOYO TIREの機会またはリスクを特定しました。そして、当社グループのリソースやソリューションによって課題を解決することで、社会および当社グループの両方に成長をもたらすゴールを「TOYO TIREのSDGs」として策定しました。

当社グループは「TOYO TIREのSDGs」の達成を通じて地球規模の社会的課題を解決し、国連が掲げるSDGsの達成に貢献していきます。

重点テーマ	地球規模の社会的課題におけるTOYO TIREの機会またはリスク				TOYO TIREのSDGs (2030年のあるべき姿)
1 製品・サービスの信頼と革新	【原材料・調達】 気候変動や需要増加による資源枯渇	【研究開発】 ・多様な人々の社会参加 (ソーシャルインクルージョン) ・利用者ニーズの高度化 (付加価値の追求) ・気候変動の物理リスク (自然災害など) および移行リスク (排出規制など)	【生産、流通・販売】 ・気候変動の移行リスク (排出規制など) ・気候変動や需要増加による資源枯渇	【使用】 交通需要の増加 (事故件数の増加)	資源活用の最適化、および製品耐久性の向上により、地球上の持続可能な資源循環に貢献する。
					技術の高機能化により、多様な人々の社会参加を可能にするモビリティの普及に貢献する。
					製品・技術の高付加価値化を追求し続け、モビリティの進化に貢献する。
					技術イノベーションにより、気候変動による影響が生じた社会への適応、あるいは影響の緩和を目指すモビリティ業界の取り組みに貢献する。
					製品使用時の安全啓発活動や整備技術の向上支援により、安心安全なモビリティ社会の実現に貢献する。
2 地球環境への貢献	【原材料・調達】 気候変動や需要増加による資源枯渇	【生産、流通・販売】 ・気候変動の移行リスク (排出規制など) ・気候変動や需要増加による資源枯渇	【廃棄リサイクル】 気候変動や需要増加による資源枯渇		生産拠点におけるハード(機械・設備)の更新やソフト(運用方法)の改善を推進することで、水、エネルギーを含む地球上の資源利用効率の向上に貢献する。
					生産拠点において使用するエネルギーに占める再生可能エネルギー割合を増加することで、地域の再生可能エネルギー利用の促進に貢献する。
3 人権と多様性の尊重		【コーポレート】・人材の安定的確保・SDGsの主流化	【流通・販売】 市場(需要者)の安定化、持続的成長		グローバルネットワークの強化により、地域の雇用促進と経済の発展・安定化に貢献する。
					従業員が安心して挑戦し続けることができる労働環境を提供することで、多様な人々が対等に働く機会を得て、活躍できる社会づくりに貢献する。
4 取引先との協働	【原材料・調達】 持続可能なサプライチェーンの構築		【流通・販売】 持続可能なサプライチェーンの構築		ステークホルダーとの連携により、持続可能なサプライチェーンを構築することで、エシカル消費が標準化する社会づくりに貢献する。
5 地域社会との共生		【コーポレート】市場(需要者)の安定化、持続的成長			多様なリソースを活用して、地域の教育・文化レベルを向上させ、世界全体の安定的発展に貢献する。
6 安全で健康的な職場づくり		【生産、流通・販売】 多様な人材、技術の活用			AI・IoTを活用した生産工程のスマート化など人的負担を軽減する技術の開発・導入により、全ての人が安全で、健康的に働く社会づくりに貢献する。
7 ガバナンス・コンプライアンスの強化	【バリューチェーン全体】ビジネスのグローバル化、ボーダレス化(ステークホルダーとの対話機会の拡大)	【コーポレート】気候変動影響など社会変化へ対応できる体制の構築 (変化する社会通念や法令へ適宜対応、経営の透明性確保)			強靱なバリューチェーンを構築することで、気候変動に由来する極端な気象現象による社会影響の最小化に貢献する。

TOYO TIRE および社会の持続可能な成長